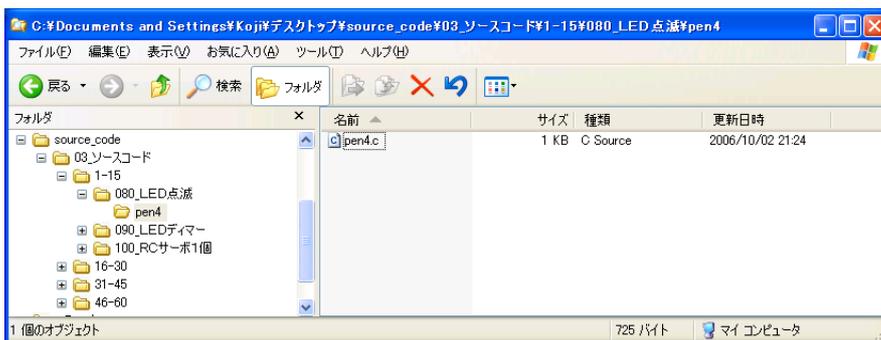


このドキュメントでは、「二足歩行ロボット自作入門」のサポートページからダウンロードした Microsoft Visual C++ 2005 用のソースコードの利用方法について、ごく基本的な2ケースを説明します。

1. 共通作業：ソースコードの展開（解凍）

ダウンロードしたソースコードの圧縮ファイル（source_code.zip）をデスクトップなど適当な場所に展開します。ソースコードはそれぞれの製作記事の日数別にフォルダを分けて格納されています。例はエクスプローラで8日目のVC++で作ったプログラム pen4 のフォルダを展開しています。



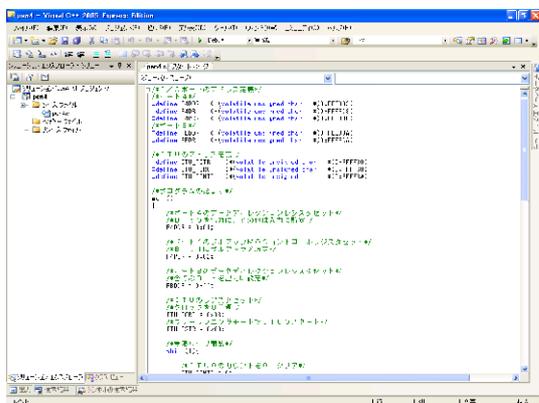
画面 1. 1：展開したフォルダ

2. ケース 1（ソースコードの差分を利用する場合）

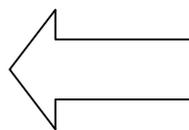
ダウンロードしたソースファイルからその日に追加するコードを抜き出して使用するケースです。

画面 1. 1 では pen4 フォルダの中に c という拡張子のファイルがあります。これが製作記事の中でソースコードとして入力する内容を含んだファイルです。

VC++ を起動し、製作中のプロジェクト pen4 を開きます。その後、pen4.c をメモ帳などのテキストエディタで開き、ほしい場所をコピー&ペーストします。



画面 2. 1：VC++でコードを表示する



コピー&
ペースト



画面 2. 2：メモ帳で pen4.c を表示する

3. ケース 2 (ソースコードファイル全体を利用する場合)

作業中のプロジェクトに、その日の記事で追加になったソースファイル読み込む方法です。

① プロジェクトを開く

VC++を起動し、作業中のプロジェクトを開きます。

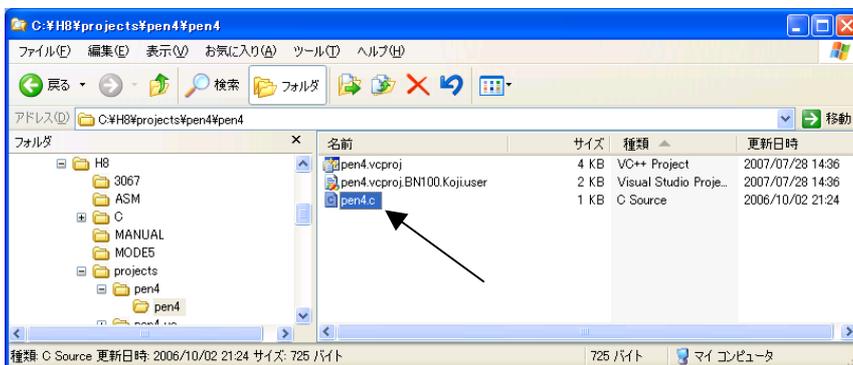


画面 3. 1 : 作業中のプロジェクト (例は新規に定義した直後)

② ソースファイルをコピー

ダウンロードしたソースコードのファイルを、定義したプロジェクトのソースコードを置くフォルダへコピーします。本の製作例におけるフォルダ名は `C:\H8\pen4\pen4` です。

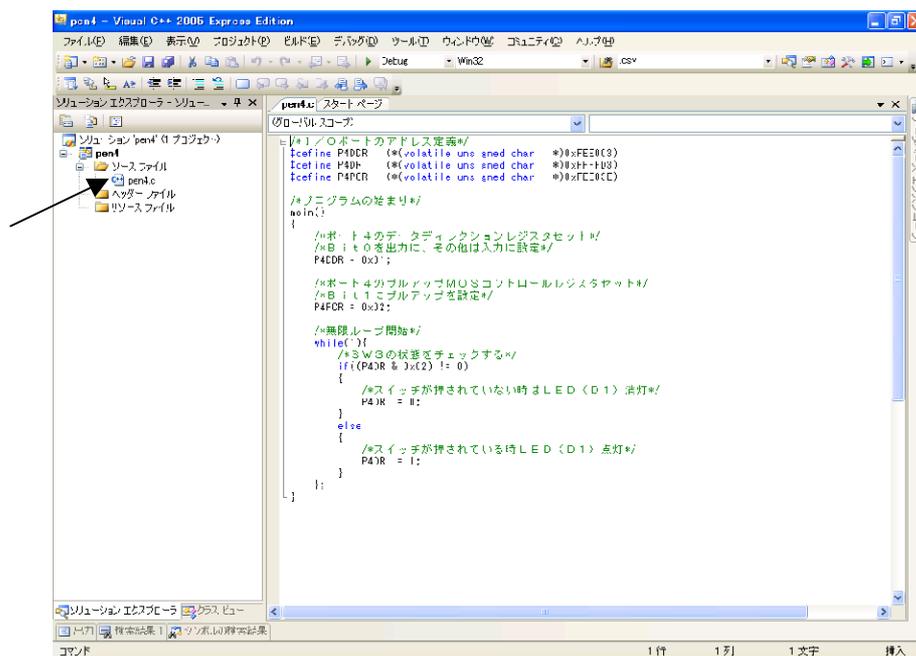
(拡張子が `c p p` や `h` のファイルも同様です)



画面 3. 2 : エクスプローラでソースファイルをコピーする。

⑤ 読み込み完了

ソリューションエクスプローラに追加したソースファイルが表示されます。



画面 3. 5 : 読み込み完了

以上で読み込んだソースコード他が有効になりました。

以上